

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施策	①県民一人ひとりの健康づくり活動の定着
			施策の小項目名	○健康づくりに関する正しい知識の普及啓発等の実施
主な取組	健康増進計画推進事業		対応する成果指標	健康寿命
施策の方向	・日常生活における継続的な健康づくりに向けて、県民一人ひとりが健康の大切さを自覚して行動することを促すため、健康づくりに関する正しい知識の普及啓発等に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県は生活習慣の改善が喫緊の課題となっている。健康長寿復活のため、県民一体の健康づくり活動を進めていくための行動計画、健康おきなわ21を策定し、食生活や運動、タバコ、飲酒などの6分野で目標指標を設定し取り組んでいく。健康増進計画が未策定の自治体については策定を促す。	県,市町村	市町村健康増進計画の策定支援		
		健康増進計画策定市町村数(内訳)		
		41市町村	41市町村(継続41市町村)	41市町村(継続41市町村)
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課	【 098-866-2209 】	関連URL	http://www.kenko-okinawa21.jp

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 健康増進計画推進事業				予算事業名 健康増進計画推進事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	直接実施	18,931	28,798	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	直接実施	27,014
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
健康おきなわ21(第2次)最終評価及び推進協議会開催、市町村健康増進計画策定・推進の支援、歯科口腔保健啓発月間における普及啓発した。				健康おきなわ21(第2次)次期計画策定及び推進協議会開催、市町村健康増進計画策定・推進の支援、歯科口腔保健啓発月間における普及啓発する。		

活動指標名	健康増進計画策定市町村数(内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	38市町村	38市町村	38市町村	41市町村	92.7%	順調	①健康おきなわ21(第2次)最終評価及び推進協議会の開催 ②市町村健康増進計画の策定及び推進の支援 ③歯科口腔保健啓発月間における普及啓発事業の実施。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>健康増進計画未策定自治体があるものの、未策定自治体へは県や各保健所から計画策定に向けた指導助言を行っている。また、健康おきなわ21推進協議会を開催し、最終評価結果の報告及び今後の施策推進に必要な事項について意見聴取した。さらに県民に広く歯科口腔保健の推進についての関心と理解を深めるため、歯科口腔保健啓発月間における普及啓発事業を実施し、健康長寿おきなわ復活に向けて官民一体となって取り組んでいる。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>健康増進計画未策定自治体に対して、県や保健所から計画策定に向けて引き続き指導助言を行うとともに、健康増進計画策定済み自治体に対しても健康増進計画を推進するために必要なフォローアップを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりの手法、知識及び経験が蓄積されていない自治体に対して、各保健所から会議等を通して技術的な支援を行っている。 ・市町村に対しては、県や各保健所から市町村計画にかかる更新及び策定に向けた指導助言を行っており、計画更新及び策定に向けた検討が行われている。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	健康増進計画未策定の自治体については、職員数や予算規模が小さい等の理由により計画策定に向けた検討にとどまり、計画策定に至っていない状況にある。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	地域、職業、経済力、世帯構成等に起因する生活習慣の差が県民の健康に影響を与えており、県民各人の健康に格差が生じている。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	健康増進計画未策定自治体の策定支援及び策定済み自治体についても計画更新及び策定に向けた指導助言を行う。
⑥ 変化に対応した取組の改善	健康増進計画未策定自治体の策定支援及び策定済み自治体についても、地域の実情を踏まえた取組を推進する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施策	①県民一人ひとりの健康づくり活動の定着
			施策の小項目名	○子どもから高齢者まで各世代に向けた食に関する啓発・指導の実施
主な取組	食育推進事業		対応する成果指標	健康寿命
施策の方向	<p>・食育については、県民一人ひとりが生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう、子どもから高齢者まで各世代に向けた食に関する啓発・指導を行うなど県民運動としての取組強化を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
食に関する啓発・指導を推進するため、第4次沖縄県食育推進計画を策定し、同計画に基づく施策を展開する。	県関係機関	第4次沖縄県食育推進計画の策定	第4次沖縄県食育推進計画に基づく施策の推進	
		食育推進協議会の開催回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課 【 098-866-2209 】		関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	食育推進事業費			予算事業名	食育推進事業費	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	3,509	7,640	県単等	委託	5,571
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<ul style="list-style-type: none"> 第4次沖縄県食育推進計画の策定等を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> 第4次沖縄県食育推進計画に基づく食環境整備等を行う。 		

活動指標名	食育推進協議会の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0回	0回	1回	2回	50.0%	大幅遅れ	食育推進協議会を1回開催し、第4次食育推進計画案を審議した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画策定のスケジュール及び新型コロナウイルス感染症の影響等により、食育推進協議会の開催回数は1回となった。同協議会では、第4次食育推進計画案について意見を聴取し計画案に反映させた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 市町村食育推進計画策定率の向上のため、国と連携して、支援が必要な地域（北部・離島）の実態を把握し、各地域に応じた支援を検討する。 施策展開に必要な基礎資料として、食育に関する意識調査等を実施し、現状把握や課題を分析する。また、その結果を沖縄県食育推進計画（第4次）に反映させることで、本県の特性を活かした食育を総合的に推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 食育推進計画を未策定の市町村に対して聞き取り等を行い、策定に向け支援した。 食育に関する意識調査を実施し、その結果を踏まえた第4次沖縄県食育推進計画を策定した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	食育推進協議会の効果は開催回数のみで計測できるものではない。食育推進計画の着実な推進に向け、同協議会の開催形態の見直しや会議内容の充実を図る必要がある。	② 連携の強化・改善	食育推進協議会について、従来の会議形式のほか、書面やWebによる簡易開催の手段を取り入れ、各構成員との意見交換及び情報共有の機会として活用する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○健康診断や特定健診の受診率向上及び食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備
主な取組	健康増進事業等推進事業		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因)
施策の方向	・高血圧症等の生活習慣病の予防及びがん等の早期発見に向けた健康診断や特定健診の受診率向上、生活習慣を改善するための食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
市町村が実施する健康増進事業に対し補助を行い、壮年期からの健康づくりと、脳卒中、心臓病等の生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を図り、住民の健康増進を図る。	県,市町村	市町村が実施する健康増進事業に対し補助を行い、壮年期からの健康づくりと、脳卒中、心臓病等の生活習慣病の予防、早期発見、早期治療による住民の健康増進		
		補助市町村数(内訳)		
		41市町村	41市町村(継続41市町村)	41市町村(継続41市町村)
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課	【 098-866-2209 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 健康増進事業等推進事業費				予算事業名 健康増進事業等推進事業費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
各省計上	補助	42,993	42,604	主な財源	実施方法	当初予算額
				各省計上	補助	45,429
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
市町村が健康増進事業を円滑に実施できるよう補助及び支援を実施した。				市町村の健康増進事業実施に対する補助や支援を行い、実施事業の充実を図る。		

活動指標名	補助市町村数 (内訳)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	41市町村	41市町村	41市町村	41市町村	100.0%	順調	41市町村が実施する健康増進事業(健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導)に要する費用に対し補助を行った。(負担割合は国・県・市町村が1/3ずつ、肝炎ウイルス検診の受診者負担相当額は国全額補助)

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響から住民の受診控えが見られ、健康診査受診者数は感染症流行前の令和元年2,418人から令和2年1,790人と減少した。 県及び市町村は広報活動等により健康知識の普及などを継続的に実施していることから、健康診査受診者数は令和3年2,105人、令和4年2,235人と増加傾向にあり、感染症の影響下にあっても住民の健康診査の機会及び事業実施体制を確保している。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 各市町村における取組の事例を情報提供することで、住民の健康維持に必要な事業実施を確保し、県民の健康増進の促進へ繋げる。 健(検)診結果の利活用に向けた情報標準化等の整備が市町村において進められるよう促すことにより、県民の生活習慣の改善及び健康増進を図る市町村事業が効果的に展開するよう導く。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響の中でも、事業実施の確保に努めた結果、県内全41市町村において健康増進事業が実施され、県民の健康増進に寄与した。 県内36市町村が健(検)診結果の利活用に向けた情報標準化整備事業によって、健康管理システムを導入した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
③ 他地域等との比較 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> 職員数や予算規模等の理由から、各市町村の実施項目状況に差が生じている。 市町村においては効果的な事業実施のため、住民の疾病状況や健康課題の把握に努めているところである。
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	<ul style="list-style-type: none"> 地域、職業、経済力、世帯構成等による生活習慣の差が健康格差に影響を及ぼしている。
⑦ その他(改善余地の検証等)	<ul style="list-style-type: none"> 申請書類が膨大であることから、前年度を参考にして記入している市町村が多く、誤記入や県への照会が多く見られる。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> 各市町村における取組の事例を情報提供することで、住民の健康維持に必要な事業実施を確保し、県民の健康増進の促進へ繋げる。
② 連携の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> 新しい項目を実施する市町村の相談等に対応する必要がある。またその事例を他の市町村にも共有する等、実施項目拡大に向け各市町村が取り組みやすいよう適切なサポートを行う。
⑤ 情報発信等の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> 各市町村の相談等に対応するとともに、全市町村と情報共有を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○健康診断や特定健診の受診率向上及び食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備
主な取組	生活習慣病予防対策事業		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因)
施策の方向	・高血圧症等の生活習慣病の予防及びがん等の早期発見に向けた健康診断や特定健診の受診率向上、生活習慣を改善するための食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
健康情報コンテンツ、イベント等による普及啓発を行う。	県	健康情報コンテンツ・イベント等による普及啓発		
		コンテンツ制作本数・イベント・セミナーの開催数(累計)		
		動画コンテンツ4本、イベント・セミナー4回	動画コンテンツ5本(9本)、イベント・セミナー4回(8回)	動画コンテンツ5本(14本)、イベント・セミナー4回(12回)
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課	【 098-866-2209 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	生活習慣病予防対策事業			予算事業名	生活習慣病予防対策事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
一括交付金 (ソフト)	委託	17,700	35,342	主な財源	実施方法	当初予算額
				一括交付金 (ソフト)	委託	34,877
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
ウォーキング大会開催(1回)、健康経営支援モデル創出(2団体)、職場での健康教室(8件)、動画制作(5本)、普及啓発イベント開催出展(4回)				ウォーキング大会開催(1回)、健康経営支援モデル創出(2団体)、職場での健康教室(8件)、動画制作(5本)、普及啓発イベント開催出展(4回)		

活動指標名	コンテンツ制作本数・イベント・セミナーの開催数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	-	-	5本	動画コンテンツ4本	100.0%	順調	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりに関する県民向け動画コンテンツを5本制作し、YouTubeチャンネルで発信 うまんちゅ健康フェスタの開催等
活動指標名	コンテンツ制作本数・イベント・セミナーの開催数(累計)		R4年度				
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	-	-	4回	イベント・セミナー4回	100.0%		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病に関する基礎的な情報や食生活に関する情報をわかりやすくまとめた動画コンテンツを制作し、YouTubeチャンネルで発信した。 令和5年1月に「うまんちゅ健康フェスタ」を開催し、各種展示及び体験コンテンツの提供等により健康づくりに関する普及啓発を行った。 	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 健康啓発のイベントのほか、県民が日常生活で継続的に取り組める環境を整備する(ウォーキングイベントなど)。 働き盛り世代の健康づくりの推進に向け、関係機関5者で締結した包括的連携協定に基づき、連携体制の強化する。また、健康経営アドバイザー派遣による経済団体への実践支援やセミナーの開催、食育SATシステムを活用した健康教育の出前講座など、社会環境整備の側面からのアプローチを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインウォーキングイベントを開催した(令和4年10月~12月)。 経済団体等の主導による健康経営推進体制の構築のため、健康経営支援モデルの創出を支援した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	<ul style="list-style-type: none"> 本県全体の健康寿命の延伸に向けては、無関心層及び働き盛り世代へ情報を届け健康的な生活の実践につなげる事が課題となっている。
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防・改善に向けては、普段から健康的な生活が送れるよう、継続的な取組につながる仕掛けや環境整備が必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	<ul style="list-style-type: none"> オンラインウォーキングイベントにおいて、企業単位での参加や実績集計の仕組みを導入するなど、企業を通じて従業員等への働きかけを促すことで無関心層及び働き盛り世代の運動習慣獲得・定着を図る。
⑤ 情報発信等の強化・改善	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営の効果的な実践例等を収集・整理し、県内事業者へ広く共有する。このことにより、各事業者の自発的な取組を促進する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○健康診断や特定健診の受診率向上及び食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備
主な取組	糖尿病予防戦略事業		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因)
施策の方向	・高血圧症等の生活習慣病の予防及びがん等の早期発見に向けた健康診断や特定健診の受診率向上、生活習慣を改善するための食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
糖尿病の発症を予防するために、生活習慣を改善し、適切な食生活や適度な運動習慣等の実践に結びつくよう環境整備を行う。	県,市町村	糖尿病の発症を予防するために、生活習慣を改善し、適切な食生活や適度な運動習慣等の実践に結びつけるための環境整備		
		栄養情報提供店舗数(累計)		
		5店舗(90店舗)	5店舗(95店舗)	5店舗(100店舗)
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課	【 098-866-2209 】	関連URL	http://www.kenko-okinawa21.jp/090-docs/2016012900014

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	健康増進計画推進事業 (糖尿病予防戦略事業)			予算事業名	健康増進計画推進事業 (糖尿病予防戦略事業)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
各省計上	直接実施	362	348	主な財源	実施方法	当初予算額
				各省計上	直接実施	400
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
食環境整備として、栄養情報提供店の登録店舗数の増加に向けて、全保健所にて飲食店への訪問や食品衛生講習会での事業説明等取組を行った。				飲食店への取組を実施すると共に全ての食環境に係る整備が必要であり、国の「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」を参考に事業の検討を行う。		

活動指標名	栄養情報提供店舗数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		合計店舗数	合計店舗数	合計店舗数	5店舗 (90店舗)	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

栄養情報提供店舗数増加に向けて、全保健所において飲食店への訪問や食品衛生講習会での事業説明等に取り組んだが、飲食店の閉店等により総登録数は減少した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 当該業務の実施要項は各保健所で定めているものを根拠に実施しているため、事業内容にバラツキがあることが課題だったため、県統一の要項を作成し、事業の統一化を図る。 飲食店以外の食環境整備にも焦点をあてて、制度の整理を行うために、国が策定している「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」の把握を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度までは新型コロナウイルス感染症の影響により保健所業務が逼迫し、事業の整理や県統一の要項を作成ができず統一化を図れなかった。 「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」については、公表されているホームページ情報や報告書等で把握に努めてはいたが、事業として具体化が行えなかった。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	当該業務の実施要項は各保健所で定めているものを根拠に実施しているため、事業内容にバラツキがあることが課題である。	① 執行体制の改善	沖縄県栄養情報提供店普及事業実施要領 (仮称) の作成を行い、県の事業統一化を図る。
⑥ 他地域等の動向 (外部環境の変化)	飲食店以外にも着目し、食に関するすべての環境を考慮し、整備する必要がある。	③ 他地域等事例を参考とした改善	国が策定している「健康的で持続可能な食環境戦略イニシアチブ」または、他自治体の取組を参考に事業の検討を行う。
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	栄養情報提供店における課題として、飲食店の業務負担及び登録後のメリットがないことなどが挙げられる。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	飲食店の負担軽減及びインセンティブの付与等、事業見直しの検討が必要である。

様式1 (主な取組)

「主な取組」 検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○健康診断や特定健診の受診率向上及び食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備
主な取組	がん検診の精度管理向上		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因)
施策の方向	・高血圧症等の生活習慣病の予防及びがん等の早期発見に向けた健康診断や特定健診の受診率向上、生活習慣を改善するための食生活改善や適度な運動習慣等の実践に向けた環境整備に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
市町村が検診機関に委託して実施するがん検診の精度管理を目的とした検診データやがん登録情報等の収集分析、関係者・専門家等から意見を聴取する協議会等の開催等。	県	指針に基づくがん検診実施体制の強化			
		生活習慣病検診管理協議会及び各がん検診分科会の開催回数(累計)			
		各1回	各1回(各2回)	各1回(各3回)	
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課		【 098-866-2209 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kenkotyoju/cancer/screening/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	がん検診充実強化促進事業			予算事業名	がん検診充実強化促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
各省計上	委託	25,799	22,111	主な財源	実施方法	当初予算額
				各省計上	委託	25,810
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
検診機関におけるがん検診の実施体制調査、生活習慣病検診管理協議会の開催、がん登録事業を実施した。				検診機関におけるがん検診の実施体制調査、生活習慣病検診管理協議会の開催、がん登録事業を実施する。		

活動指標名	生活習慣病検診管理協議会及び各がん検診分科会の開催回数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	1回	1回	各1回	100.0%	順調	協議会・各分科会を各1回開催し、がん検診を実施する市町村や検診機関の評価や助言等を行った。また、がん症例をデータベースに登録し、罹患率等の実態を分析し、効果的ながん対策の推進を図った。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
協議会等での検討を踏まえて行った、市町村やがん検診実施機関への助言等により、効果的・効率的な実施と専門技術者の質の向上が図られた。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を考慮した上で、保健所担当者会議を開催し、保健所と連携した市町村支援の方法を検討し、実施する。 ・精検結果報告様式や精検結果報告ルートについて、全ての市町村及び検診機関で導入されるよう引き続き推進する。 ・全国がん登録やオンラインシステムの利用方法等に関する医療機関からの照会に随時対応し、DCO（がん登録票の提出がなく死亡診断書のみで登録されている割合）の減少を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で低下した検診受診率および精度管理体制の回復を目指し、保健所担当者を含めた市町村説明会を開催した。 ・精検結果報告様式や精検結果報告ルートについて、全ての市町村及び検診機関で導入されるよう引き続き推進した。 ・全国がん登録やオンラインシステムの利用方法等に関する医療機関からの照会に随時対応し、DCOの減少を図った。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	市町村が事業主体となり検診機関に委託して実施するがん検診において、国の指針に沿った内容で実施できていない状況がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	研修会や情報提供を通じて、市町村職員の体制強化を図る。また市町村単独で対応が難しい検診機関の精度管理については、県が県医師会に委託して広域的に対応する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○職場における健康づくり
主な取組	職場の健康力アップ促進事業		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因)
施策の方向	・働き盛り世代の生活習慣の改善や、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に実践することで、組織の活性化につなげていく職場における健康づくりの促進に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
働き盛りの世代(20歳~64歳)の死亡率を改善するため、生活習慣病の発症予防および重症化予防を目指し、職場における健康づくりの普及啓発を行う。	県関係団体	職場の健康づくりにかかる企画・立案から実践までの総合的な支援とフォローアップの実施		
		うちなー健康経営宣言事業所数(累計)		
		590事業所(1,000事業所)	150事業所(1,150事業所)	150事業所(1,300事業所)
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課	【 098-866-2209 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 職場の健康力アップ促進事業				予算事業名 職場の健康力アップ推進事業		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	5,301	4,984	県単等	委託	4,850
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
・30社に対する健康づくり支援（健康課題に合わせた実践支援10社、血圧改善10社、健康づくりプランニング支援10社）等を行った。				・30社に対する健康づくり支援（健康課題に合わせた実践支援15社、血圧改善5社、健康づくりプランニング支援10社）等を行う。		

活動指標名	うちなー健康経営宣言事業所数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	0事業所	410事業所	590事業所	590事業所 (1,000事業所)	100.0%	順調	健康づくり支援（実践計画書作成、選択制講座の実施、担当者フォロー等）の実施を通じて、未宣言の事業所があれば宣言を促していく。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>「うちなー健康経営宣言」を創設しており、同宣言を発信することから始めて、健康経営の実践へ導くよう実施している。新型コロナウイルス感染症対策のため、事業所への訪問自粛など制限がある中であつたが、オンラインを活用するなどの対応も行うことにより、支援ができた。過去の支援事業所へフォローアップを実施しており、継続支援を図った。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 令和3年3月、沖縄県、沖縄労働局、(社)沖縄県医師会、全国健康保険協会沖縄支部および(独)労働者健康安全機構沖縄産業保健総合支援センターの5者において包括的連携協定(5者協定)を締結している。本事業において連携を推進することにより、働き盛り世代の健康づくりにつなげる実践的な活動を促進する。 過去支援事業所をフォローアップすることにより、健康づくりを継続できる体勢の構築を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 受託者の運営体制の中に全国健康保険協会沖縄支部が連携推進する組織として組み込まれている。 過去に本事業で支援した企業10社を選定し、プランニング支援をすることで、健康経営を継続して取り組めるよう後押しをしている。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営の裾野拡大を図る必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	<ul style="list-style-type: none"> 連携協定を締結している5者(県、医師会、協会けんぽ、労働局、産業保健総合支援センター)と連携し、健康増進につながる具体的な取り組みを行う必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	<ul style="list-style-type: none"> 支援企業の内訳を変更し、健康づくりの課題に合わせた支援する企業を10社から15社に増やす。
④ 創意工夫による取組の改善(合理化・効率化)	<ul style="list-style-type: none"> 血圧改善で支援する5社に対して、連携協定を締結している医師会が行う企業介入プロジェクトに引き継ぐことが可能か検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○県民の歯科保健意識の向上
主な取組	歯科保健に関する普及啓発		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因)
施策の方向	・歯や口の健康づくりについては、乳幼児期・学齢期のむし歯予防や成人期・高齢期の歯周病予防並びに歯の喪失予防に向けた普及啓発を行い、80歳で自分の歯を20本以上保つという「8020運動」を広げ、県民の歯科保健意識の向上を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
歯科口腔保健に関する知識の普及およびむし歯や歯周病の具体的な予防方法を普及・定着させるために、出前講座を実施する。	県,市町村	歯科保健に関する健康教育の実施支援		
		講師派遣回数(累計)		
		10回	15回(25回)	20回(45回)
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課 【 098-866-2209 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kenkotyoju/index.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	出前・歯と口の健康講座事業			予算事業名	出前・歯と口の健康講座事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
県単等	委託	876	1,076	主な財源	実施方法	当初予算額
				県単等	委託	1,500
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
那覇市を除く県中南部、名護市および石垣市の地域子育て支援センター、児童養護施設、健康づくり関連イベントでの歯科口腔保健に関する出前講座の実施				那覇市を除く県内全域の地域子育て支援センター、児童養護施設、健康づくり関連イベントでの歯科口腔保健に関する出前講座の実施		

活動指標名	講師派遣回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		9回	13回	18回	10回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたことで、当初予定していた件数の出前講座が実施できた。継続して実施していることで、対象施設から講座が認知されており、実施拡大につながっている。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度 of 取組改善案	反映状況
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策を考慮した出前講座を実施する。 派遣可能な講師を確保し、出前講座の対象地域の拡大を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対策として、受講者数や講座内容を見直した。 対象地域に名護市も加えることができた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	出前講座の講師として派遣する歯科衛生士の人数を確保しにくい地域がある。	③ 他地域等事例を参考とした改善	出前講座の講師が確保しにくい地域においては、別地域から講師の派遣する。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症対策として、密集しないように人数を制限する必要がある。	① 執行体制の改善	委託事業での出前講座を継続しつつ、新たに設置した沖縄県口腔保健支援センターにおいても、出前講座を実施することで、知識の普及およびむし歯や歯周病の具体的な予防方法を普及・定着させる。
		⑥ 変化に対応した取組の改善	新型コロナウイルス感染症対策として人数制限する場合は、同一施設で複数回の開催する等対策を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○県民の歯科保健意識の向上
主な取組	歯科保健に関する連携		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因)
施策の方向	・歯や口の健康づくりについては、乳幼児期・学齢期のむし歯予防や成人期・高齢期の歯周病予防並びに歯の喪失予防に向けた普及啓発を行い、80歳で自分の歯を20本以上保つという「8020運動」を広げ、県民の歯科保健意識の向上を図ります。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
歯科口腔保健の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、県民の健康の保持増進に寄与することを目的に、関係する団体等と情報共有および協議の場を設ける。	県	歯科保健に関する情報収集及び共有		
		歯科保健に関する連携会議等の開催回数(累計)		
		2回	4回(6回)	6回(12回)
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課 【 098-866-2209 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kenkotyoju/index.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	歯科保健推進事業口			予算事業名	歯科保健推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
各省計上	直接実施	5,570	6,490	主な財源	実施方法	当初予算額
				各省計上	直接実施	6,650
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和4年8月3日に沖縄県歯科口腔保健推進協議会を開催した。				歯科口腔保健の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、県民の健康保持増進寄与を目的に、関係する団体等と情報共有及び協議の開催する。		

活動指標名	歯科保健に関する連携会議等の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
		1回	1回	1回	2回	50.0%	大幅遅れ

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症の影響で、各保健所で会議が開催できなかった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した会議の開催方法を検討する。	各保健所においては、新型コロナウイルス感染症の影響で、会議が開催できなかったが、適宜情報共有等を行った。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制 (内部要因)	保健所においては、新型コロナウイルス感染症対応業務の占める割合が大きく歯科保健業務に対応することが難しかった。	① 執行体制の改善	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、状況に応じた開催方法等とする。
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	歯科専門職 (歯科医師、歯科衛生士) が未配置の保健所がある。	① 執行体制の改善	正規採用の歯科専門職を配置してもらうように、担当部署と調整する。
④ 社会・経済情勢の変化 (外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症拡大による影響があった。		

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○酒やタバコの健康影響に関する正しい知識の普及啓発や医療機関等による相談支援の実施
主な取組	たばこ対策促進事業		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因)
施策の方向	・飲酒や喫煙対策については、酒やタバコの健康影響に関する正しい知識の普及啓発や医療機関等による相談支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
喫煙の健康影響や受動喫煙防止対策についての普及啓発を行う。	県	喫煙の健康影響や受動喫煙防止対策についての普及啓発		
		世界禁煙デー・週間(5月)等での普及啓発回数(累計)		
		1回	1回(2回)	1回(3回)
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課 【 098-866-2209 】		関連URL	"https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/kenkotyoju/index.htm □"

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	たばこ対策促進事業			予算事業名	たばこ対策促進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
各省計上	直接実施	11,856	12,305	主な財源	実施方法	当初予算額
				各省計上	直接実施	4,914
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
改正健康増進法に基づく受動喫煙対策に取り組み、たばこの健康影響に関する知識の普及啓発、喫煙者の禁煙支援をテレビCMやSNSを活用し実施した。				受動喫煙対策に取り組み、たばこに関する知識の普及啓発、禁煙支援を行う。法改正前後に実施したテレビCM放映などが終了することに伴い予算が減少。		

活動指標名	世界禁煙デー・週間（5月）等での普及啓発回数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		1回	1回	1回	1回	100.0%	順調

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

「世界禁煙デー・週間」にあわせてパネル展の開催など様々な機会を活用し、喫煙の健康影響や受動喫煙対策についての知識の普及啓発等を行い、結果としても、知識を持つ人の割合も増加した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・喫煙の健康影響や受動喫煙対策について、県民や施設管理者に対しての周知を図るとともに、受動喫煙防止に関する相談等に対応する。	・パネル展の開催やテレビコマーシャル放映などで喫煙の健康影響や受動喫煙対策の普及啓発を図り、特に若い世代の理解向上に向け、中高生向けのパンフレット作成し配布した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況(内部要因)	改正健康増進法が全面施行されたことから、受動喫煙対策について引き続き県民や施設管理者に対し周知を図る。	⑤ 情報発信等の強化・改善	将来的な喫煙率の減少を目的とし、特に20歳未満や妊婦・子育て世代などの若年層に対し、加熱式たばこを含めたたばこの健康影響の理解につながる普及啓発を強化する。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	・喫煙に対する抵抗感が比較的低くなりやすい加熱式たばこの普及により、喫煙率が下げ止まる可能性がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	改正法にもとづく受動喫煙対策について、県民や施設管理者に対し周知を図るとともに、受動喫煙の防止に関する相談等に対応する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	2-(3)-ア	「健康・長寿おきなわ」の復活	施策	②生活習慣病等の予防に向けた健康的な生活の定着
			施策の小項目名	○酒やタバコの健康影響に関する正しい知識の普及啓発や医療機関等による相談支援の実施
主な取組	飲酒に伴うリスクに関する知識の普及		対応する成果指標	20-64歳の年齢調整死亡率(全死因)
施策の方向	・飲酒や喫煙対策については、酒やタバコの健康影響に関する正しい知識の普及啓発や医療機関等による相談支援に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
ホームページを設け、節度ある適度な飲酒の普及啓発のための、節酒カレンダーアプリ及びアルコール使用障害同定テスト(AUDIT)の紹介と利用を呼びかけている。また、節度ある適度な飲酒サポート事業において、働き盛り世代への飲酒に関する出前講座等を実施している。	県,市町村	酒の健康影響に関する正しい知識の普及啓発		
		節度ある適度な飲酒量を知っている人の割合		
		男性41%、女性32%	男性41%、女性32%	男性41%、女性32%
担当部課【連絡先】	保健医療部健康長寿課 【 098-866-2209 】		関連URL	http://www.kenko-okinawa21.jp/090-docs-category/bunya/arukoru/

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	健康増進計画推進事業 (健康おきなわ2 1 推進費：アルコール対策費)			予算事業名	健康増進計画推進事業 (健康おきなわ2 1 推進費：アルコール対策費)	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
各省計上	委託	759	1,057	主な財源	実施方法	当初予算額
				各省計上	委託	1,027
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
節度ある適度な飲酒の普及啓発として、節酒カレンダーアプリやアルコール使用障害同定テストの紹介。働き盛り世代へ飲酒に関する出前講座を実施した。				節度ある適度な飲酒の普及啓発として、節酒カレンダーアプリやアルコール使用障害同定テストの紹介。働き盛り世代へ飲酒に関する出前講座を実施する。		

活動指標名	節度ある適度な飲酒量を知っている人の割合		R4年度			進捗状況	活動概要
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	37%	45.7%	45.7%	男性41%	100.0%	順調	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアを活用した普及啓発 ・節酒カレンダーアプリの普及 ・節度ある適度な飲酒サポート事業の実施
活動指標名	節度ある適度な飲酒量を知っている人の割合		R4年度				
実績値	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	27.6%	37%	37%	女性32%	100.0%		

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>節度ある適度な飲酒量を知っている人の割合は増加傾向にあるが、県民の半数にも達していない。 節酒カレンダーアプリについて、導入から8年が経過し改修の要望や、新しいスマートホン・タブレットでの作動ができないなどの意見がある。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>働き盛り世代を対象とした事業所へのアルコール対策に関連したアンケートの調査及び出前講座の実施と事業所の安全管理者を対象とした研修を行った。</p>	<p>出前講座及び研修受講の事後アンケートから、「お酒とのつきあい方について理解することができた」や「アルコールの基礎知識（脳や体に与える影響・体質判定・依存症予防）が印象に残った」などが挙げられていた。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	<p>節度ある飲酒サポート事業の事業所への周知を図り、出前講座を希望する事業所を増やす必要がある。節酒カレンダーアプリの改修等が必要であるが、予算が厳しい。</p>

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
① 執行体制の改善	<p>節度ある飲酒サポート事業を継続しつつ、新たな取り組み方法を検討する。節酒カレンダーアプリについて、改修費用対効果等について検討する。</p>